2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	作業療法総合演習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期　木3・4	教室名	403号室、学外
担当教員	大釜　崇、山田　琢伸	実務経験とその関連資格	作業療法士。自分自身に右片麻痺があるが、これまで様々なスポーツの経験あり。			

《授業科目における学習内容》

怪我や障害の悪化に不安を抱える方や、障害があるのでうまくできないとためらっている方々などに対し、それぞれの障害特性を理解した上で適切な指導を行い、身近な地域で安心してスポーツを楽しんでもらえるように、必要な知識と技術を学習していく。

《成績評価の方法と基準》

授業で体験したレポート95%、大会補助としてのボランティア参加、平常点(態度・準備)5%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・改正版障がいのある人のスポーツ指導教本―初級・中級 2020年改訂カリキュラム対応 (ぎょうせい)
・全国障害者スポーツ大会競技規則集―2025年度版 (公益財団法人日本障がい者スポーツ協会)

《授業外における学習方法》

・授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。

《履修に当たっての留意点》

・初級パラスポーツ指導員養成を中心に教授・実技する。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ体力測定会を通してパラアスリートの能力について理解する	教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの現場に出かけ当事者の体験談を聞いたり、ボランティア活動でのふれあいを通じて、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ(鳥取県パラスポーツ大会・全国パラスポーツ大会鳥取県選手選考会にボランティア協力で参加する)。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ体力測定会を通してパラアスリートの能力について理解する	教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの現場に出かけ当事者の体験談を聞いたり、ボランティア活動でのふれあいを通じて、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ(鳥取県パラスポーツ大会・全国パラスポーツ大会鳥取県選手選考会にボランティア協力で参加する)。		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ体力測定会を通してパラアスリートの能力について理解する	教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの現場に出かけ当事者の体験談を聞いたり、ボランティア活動でのふれあいを通じて、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ(鳥取県パラスポーツ大会・全国パラスポーツ大会鳥取県選手選考会にボランティア協力で参加する)。		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	パラスポーツ体力測定会を通してパラアスリートの能力について理解する	教科書	事後学習 (60分) 活動・経験のまとめ
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの現場に出かけ当事者の体験談を聞いたり、ボランティア活動でのふれあいを通じて、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ(鳥取県パラスポーツ大会・全国パラスポーツ大会鳥取県選手選考会にボランティア協力で参加する)。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質を説明できる。	教科書	事前学習 (30分) 教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	スポーツにおけるインテグリティを理解し、プレイヤーズファーストの視点やプレイヤーとともに学び続ける姿勢について学ぶ。		

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションスキルの基礎について説明できる。 障がいと体力づくりについて説明できる。	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	障がい者との具体的なやりとりを念頭にグループワークを通して学ぶ		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツ推進の取り組み・障がい者スポーツに関する諸施策	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	各都道府県・指定都市のパラスポーツ振興の現状等の把握、わが国の障がい者福祉政策について		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	各障がいの理解	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	身体障がい（肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障害、内部障がい等）知的障がい（発達障がいを含む）、精神障がい等の代表的な基礎知識をまなぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急処置法について説明・実践できる。	教科書 救急救命講習会資料など	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	救急処置法（救命手当と応急手当、心肺蘇生法、AEDによる除細動）について学ぶ。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	救急処置法について説明・実践できる。 喀痰吸引について説明・実践できる。	教科書 救急救命講習会資料など	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	救急処置法（気道異物除去、外傷・骨折・脊髄損傷・脱臼・捻挫・打撲・肉離れ・腱断裂・熱中症などの応急手当）と喀痰吸引について学ぶ。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫について説明できる。	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの現場に出かけ当事者の体験談を聞いたり、ボランティア活動でのふれあいを通じて、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ（鳥取県パラスポーツ大会・全国パラスポーツ大会鳥取県選手選考会にボランティア協力で参加する）。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫について説明できる。	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	パラスポーツの現場に出かけ当事者の体験談を聞いたり、ボランティア活動でのふれあいを通じて、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ（鳥取県パラスポーツ大会・全国パラスポーツ大会鳥取県選手選考会にボランティア協力で参加する）。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫について説明できる。	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	ノバリアでの障害者スポーツ体験とその理解		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションスキルの基礎について説明できる。 障がいと体力づくりについて説明できる。	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	ノバリアでの障害者スポーツ体験とその理解		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	全国障害者スポーツ大会の概要について説明できる。	教科書	事前学習（30分） 教科書の予習 事後学習（30分） 授業の復習
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の歴史、目的・意義、概要（主催者、基本方針、参加資格、実施競技、障害区分、競技規則の原則）について学ぶ。		